

**重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査**

◎叙述を基にし、条件に合わせて自分の考えを書くことに課題がある。(通過率 30.4%)

◎多くの情報の中から必要な情報を選択し、それらを関係付けて書くことに課題がある。(通過率 28.3%)

◇目的や意図に応じ、引用して書くことに課題がある。(通過率 18.9%)

◇具体的な叙述を基に理由を明確にして自分の考えをまとめることに課題がある。(通過率 37.7%)

**重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)**

◎条件に合わせて自分の考えを書く活動を取り入れ、繰り返し取り組む。

◎多くの情報の中から、必要な情報を取捨選択し、それを関係付けたり、まとめたりする学習を取り入れる。

◇多くの情報の中から、目的や意図に合った内容を引用して書く学習を取り入れる。

◇文学的な文章を読む際に、理由を明確にして自分の考えをまとめる学習を繰り返し行う。

※小中一貫した取組については、目的に応じて必要な情報を取り出し、関連付けて条件に沿って表現する学習活動を取り入れる。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年 H29直し	5年 H29直し	5年 類似問題	5年 H29問題	4・5年 標準学力調査	4年 過去問題	4年 学期末テスト
目標値			80%	85%	80%	80%	85%
実施後数値			76%	81%	71% (4年) 74% (5年)	81%	84%

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	6年 H29直し	6年 H29直し	6年 A問題の類似問題	6年 B問題の類似問題	5・6年 標準学力調査	5年 過去問題	5・6年 学期末テスト
目標値			80%	75%	80%	80%	85%
実施後数値			85%	65%	74% (5年) 75% (6年)	69%	81% (5年) 92% (6年)

**来年度に向けて**

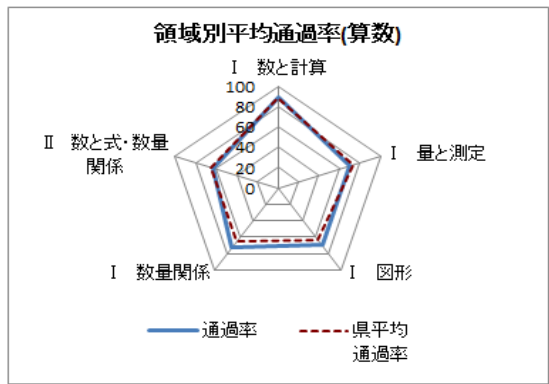
複数の情報の中から目的に応じた情報を選び、それを関連づけたり、まとめたりする力をつける。

自分の考えをもち、根拠を明らかにしながら記述する力をつける。

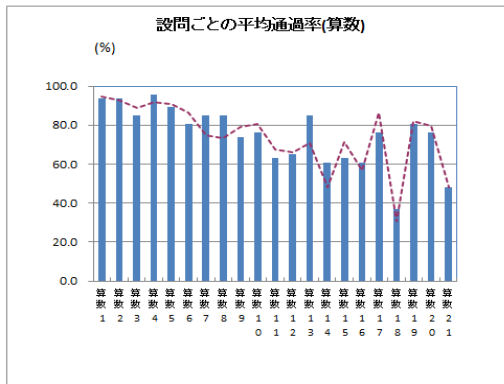
# 指導方法等の改善計画について [算数科]

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校74.8%, 県74.3%)

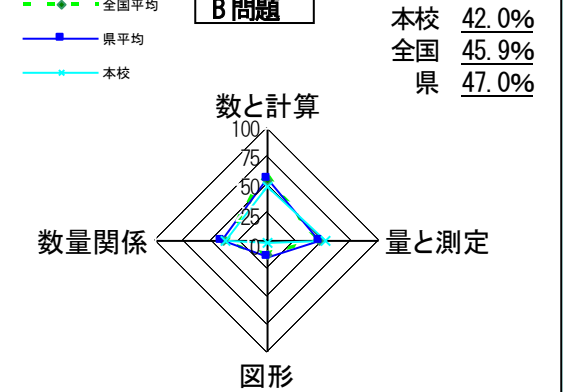
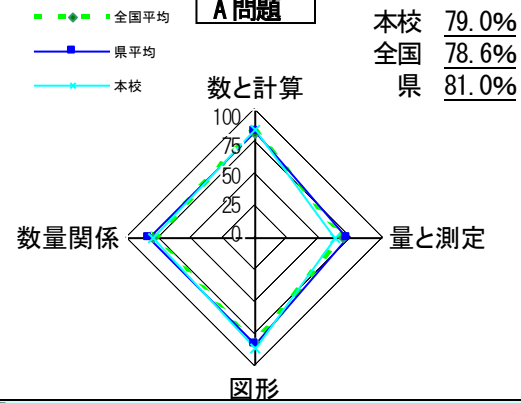
領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率



## 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎図形の意義や性質と作図の仕方を結びつけて理解し、活用することに課題がある。(通過率%47.8)
- ◎2つの折れ線グラフを関連させて考え、根拠を整理して記述することに課題がある。(通過率37.0%)
- ◇高さが図形の外部にある三角形の面積の求め方について理解し、活用することに課題がある。(通過率56.6%)
- ◇基準量と割合を基に比較し、判断の理由を言葉や式を用いて記述することに課題がある。(通過率9.4%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)

- ◎図形の定義や性質を意識した作図ができるようにするために、授業の中で一つ一つの手順を説明する活動を積み重ねる。
  - ◎授業の中で、ノート指導を通して、自分の考えを根拠や結論を明確にして記述することを積み重ねる。
  - ◇基準量、比較量、割合の関係を明確に捉え、図や言葉などに表す活動を繰り返し取り組み、定着を図る。
- ※小中一貫した取組については、基礎的・基本的な算数・数学用語を繰り返し学習させて定着を図るとともに、必要な情報を取り出したり、複数の資料を関連付けて分析したりする学習活動を取り入れる。

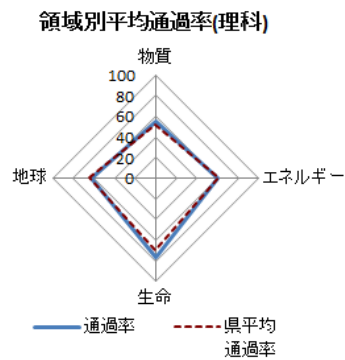
◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年 H29直し	5年 H29直し	5年 類似問題	5年 H29問題	4・5年 標準学力調査	4年 過去問題	4年 学期末テスト
目標値			80%	85%	80%	80%	80%
実施後数値			77%	82%	67% (4年) 66% (5年)	81%	85%
◎「基礎・基本」 ◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	6年 H29直し	6年 H29直し	6年 A問題の類似問題	6年 A問題の類似問題	5・6年 標準学力調査	5年 過去問題	5・6年 学期末テスト
目標値			90%	60%	80%	80%	80%
実施後数値			85%	60%	66% (5年) 70% (6年)	68%	79% (5年) 78% (6年)

## 来年度に向けて

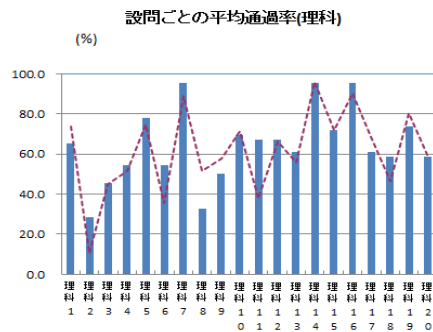
基礎的な学力の定着を図る。  
文章問題を解くとき、図と式を関連付けて情報を整理し、それをもとに自分の考えを記述したり、説明したりする力をつける。

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校64.2%, 県61.7%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

◎①乾電池のつなぎ方(直列つなぎ, 並列つなぎ)と電気のはたらきの関係の理解に課題がある。(通過率 32.6%)

◎②閉じ込めた空気を押した時の現象についての理解やそれを説明する力に課題がある。(通過率 28.3%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業等)

◎①実験を行うときは、「予想」「実験」「結果」「分かったこと」を自分の言葉で書かせ、絵や図を描いて整理させる。

◎②理科学語の意味を繰り返し確認し、概念定着を図る。

※小中一貫した取組については、基礎・基本的な理科学語を繰り返し学習する機会設けて定着を図るとともに、比較の観点を明確にして予想させ、観察、実験の結果をもとに自分の言葉で考察する学習活動を積極的に取り入れる。

◎「基礎・基本」①	9月 5年 H29 直し	10月 5年 H29 直し	11月 5年 類似問題	12月 5年 H29問題	1月 4年 過去問題	2月 4年 過去問題	3月 4・5年 学期末テスト
学年・方法							
目標値			80%	85%	80%	80%	85%
実施後数値			75%	76%	73%	78%	78%(4年) 75%(5年)

◎「基礎・基本」②	9月 5年 H29 直し	10月 5年 H29 直し	11月 5年 類似問題	12月 5年 H29問題	1月 4年 過去問題	2月 4年 過去問題	3月 4・5年 学期末テスト
学年・方法							
目標値			80%	85%	80%	80%	85%
実施後数値			75%	76%	73%	78%	78%(4年) 75%(5年)

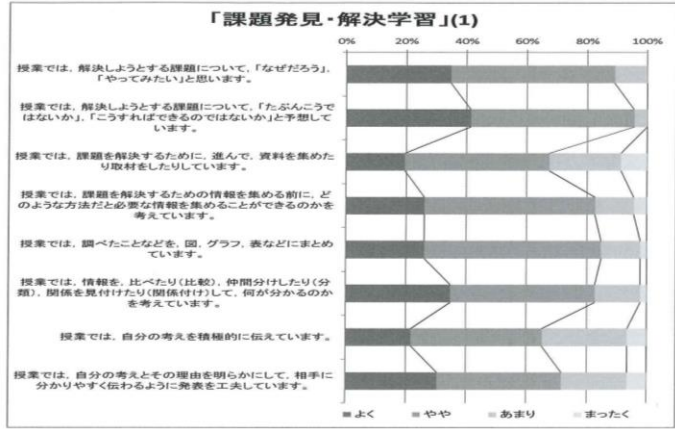
来年度に向けて

基礎・基本的な理科学語を繰り返し学習する機会を設けて定着を図る。

観察や実験では、予想をしっかりと立てさせ、結果の要因や改善点を考えることで理解を深めさせる。

2 質問紙調査 (「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査) (全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査)

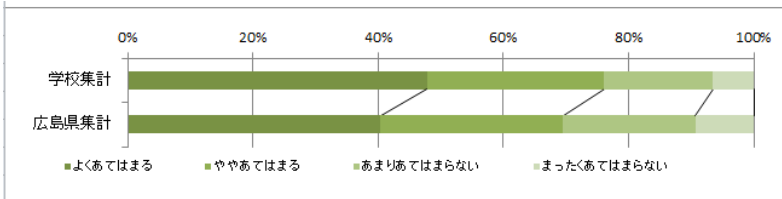
(1) 生活・学習



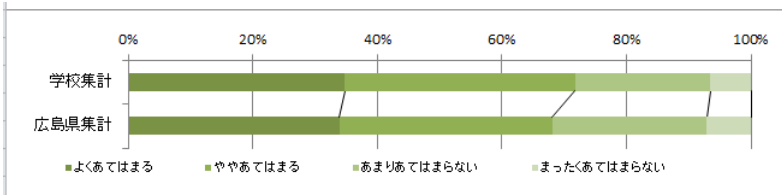
	児童の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	授業では、自分の考えを積極的に伝えています。(肯定評価65.2%)	ペアやグループで自分の考えを伝え合う学習を仕組み、聞き方や話し方名人を意識させるなどして、話したいと感じられる取組を工夫する。	5	70%以上	児童アンケート	12月2月	69%	1.1
全国	家で、学校の授業の予習をしていますか。(肯定評価51.0%)	授業で次時の内容を予告したり、自主勉強で授業の予習をすることを勧めたりして、予習をしたいと思える取組を工夫する。	6	60%以上	児童アンケート	12月2月	60%	1.2

(2) 教科

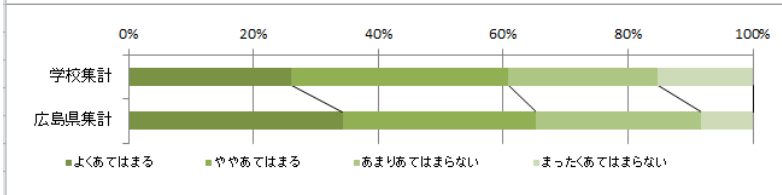
国語の授業では、分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。



算数の授業では、解き方や考え方を話し合う時に理由を挙げて説明しています。



理科の授業では、自分の考えを周りの人に説明したり発表したりしています。



	児童の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本 国語の授業では、分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。(肯定評価76.1%)	児童の近くに辞書を置いておいたり、辞書を使って調べる時間を設定したりするなど、辞書を活用する取組を進める。	5	80%以上	児童アンケート	12月2月	82%	1.1
	全国 読書は好きですか。(肯定評価67.0%)	読書貯金通帳に、目標冊数を記入させ、めあてを持たせる。授業内容と関連する本を用意するなど、平行読書の取組を進める。	6	75%以上	児童アンケート	12月2月	80%	1.2
算数	基礎・基本 算数の授業では、解き方や考え方を話し合う時に理由を挙げて説明しています。(肯定評価71.7%)	問題を解いたり、解き方を考えたりする時に、必ず理由を言ったり、書いたりさせ、理由を言うことへの抵抗感をなくしていく。	5	80%以上	児童アンケート	12月2月	74%	1.1
	全国 調査問題の解答時間は十分でしたか。(算数B)(肯定評価56.6%)	目標時間を設定したり、より簡単な解答方法を示したりしながら、応用問題に対する苦手意識を克服する取組を進める。	6	65%以上	児童アンケート	12月2月	75%	1.3
理科	基礎・基本 理科の授業では、自分の考えを周りの人に説明したり発表したりしています。(肯定評価60.9%)	予想や考えたこと、分かったことをペアやグループ、全体の場で説明したり、発表したりする機会を授業の中で設けていく。	5	70%以上	児童アンケート	12月2月	78%	1.3